

## 2014 年度 事業計画書

### 1. 図書館業務

#### (1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入
- ③ 寄贈・寄託事務の改善

#### (2) 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理
- ② 図書・特別資料・雑誌副本の遡及入力

#### (3) 閲覧等サービス

##### ① 閲覧

駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第4木曜、年末年始、特別整理期間

成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）

##### ② 資料複写、資料写真サービス

- ・2013年度に引続き、視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

### 2. 展覧会

#### (1) 館内展示

##### ① 春季展示 4月5日（土）～6月14日（土）

企画展「青春の詩歌」展（監修：中村稔）

あわせて川端康成記念室を開室、パリ日本文化会館での展示に先行して、試行展示“川端康成の四季と死の美学”を行う。

##### ② 秋季展示 9月27日（土）～11月22日（土）

「芥川賞・直木賞150回展」（仮題。編集：池内輝雄）

（パリ展開催のため、川端康成記念室は閉室＝2013年11月29日、川端香男里・川端康成記念会理事長にご内諾いただいた）

その他の期間はレプリカ、複製版、写真などによる通常展

#### (2) 企画展示の貸出し

- ・仙台文学館「石川啄木展（2014年4月26日～6月29日）」
- ・姫路文学館「漱石山房の日々」展  
（2014年10月11日～11月30日、神奈川近代文学館と共同出品）

### 3. 講座・講演会

#### (1) 第51回夏の文学教室 「作家の生活、作家と生活」（仮題）（読売新聞社後援）

7月28日（月）～8月2日（土）、有楽町・よみうりホール

#### (2) 声のライブラリー（石橋財団補助事業）

5月10日、9月13日、11月8日、2015年2月14日の各土曜日 午後2～4時、館ホール

- ・方針を見なおして企画に反映する。会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる

#### (3) 資料は語る（企画案別添）

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第4土曜日／後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、館ホール

(4) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理（企画案別添）

8月26日（火）～30日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位）

(5) 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回30名程度。

春＝4月19日（土）、5月17日（土） 講師：中島国彦

秋＝日時・講師未定

4. 刊行物

「日本近代文学館年誌—資料探索」第10号 2015年3月刊行

5. 全国文学館協議会

総会の開催（6月の第3週の予定、日時未定）、部会活動、会報の発行など

6. 広報

館報「日本近代文学館」の続刊

7. 創立50周年・開館45周年記念事業

(1)「川端康成の『日本』—伝統とモダニズム」展（9月16日～10月31日、パリ日本文化会館）、記念講演会、映画上映週間、国際シンポジウムの開催（パリ日本文化会館と共催）

(2) 展示室改修計画（2015～2016年度実施予定）

8. 老朽化した設備の改修工事

(1) 電動式集密書架の改修：2014年度はD単位を予定（1440万円＝税抜き）

（A～H単位総額で1億340万円＝茂木電機の見積りによる）

(2) 空調設備の改修 3400万円（荏原冷熱システムの見積りによる）

9. その他

(1) 神奈川近代文学館開館30周年記念「生誕105年太宰治展—語りかける言葉—」展（編集委員：安藤宏 4月5日～5月25日）に協力する。

(2) 引続き維持会の拡充をはかる。

## 2014年度 講座「資料は語る」開催要項

- 1 講座名 : 「資料は語る」
- 2 本年度タイトル : 「青春と文学」
- 3 開講回数 : 前期3回・後期3回 計6回
- 4 日 程 : 前期 4月19日(土)・5月17日(土)・6月28日(土)  
後期 9月20日(土)・10月18日(土)・11月15日(土)
- 5 開講時間 : 各回とも午後2時から午後3時半(質疑応答含む)
- 6 定 員 : 40名
- 7 会 場 : 日本近代文学館講堂(目黒区駒場4-3-55 駒場公園内)
- 8 受講料 : 全期間(6回)10,300円/前期または後期5,200円/1回のみ2,100円  
※会員はそれぞれ一割引(全期間9,300円、半期4,700円、1回1,900円)  
※2014年4月より消費税が8%に上がることにともない、今年度から値上げする。

### 9 内 容 :

本講座「資料は語る」は、日本近代文学館蔵の原稿・書簡・図書・雑誌・写真などの貴重資料の存在を、より多くの方に知っていただきたいという考えから、前身の講座「文学者を肉筆で読む」をリニューアルし2009年度より開講しているものです。

前期・後期各3回で、それぞれ本テーマに造詣や関心の深い文学者・研究者の先生をお招きします。会場には各回の内容に関連する資料を展示し、講師の先生方にはこれらの資料を用いながらお話をさせていただきます。

### 10 : プログラム

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| ①金沢の青春—中野重治・室生犀星         | 講師 : 竹内栄美子 |
| ②同人雑誌の時代—小樽の坂道 小林多喜二・伊藤整 | : 日高昭二     |
| ③「川」から「海」へ—習作時代の太宰治      | : 安藤宏      |
| ④苦悩の果ての新生—佐多稲子の青春        | : 小林裕子     |
| ⑤中村真一郎・まなざしの行方           | : 鳥山 玲     |
| ⑥第三の新人・戦後の青春—安岡章太郎       | : 坂上 弘     |

※各回の内容は講師によって変更する場合があります。

## 資料の声を聞く 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

講師代表 十川信介 8月26日(火)～30日(土) 午前10時～午後5時10分(1日4コマ、計20コマ30時間、2単位)、館ホール

### 第1日 総論

オリエンテーション

近代文学館とは

日本近代文学館の所蔵資料とその意義

坂上 弘

池内輝雄

### 資料の収集・活用

資料を活用する研究法(講義・演習)(1) 図書

東郷克美

資料を活用する研究法(講義・演習)(2) 雑誌

紅野謙介

第2日 資料を活用する研究法(講義・演習)(3) 新聞

日高昭二

図書の利用(実習)

雑誌の利用(実習)

挿絵・写真資料の調査・保存(実習)

第3日 資料を活用する研究法(講義・演習)(4) 肉筆資料

宗像和重

肉筆資料の解読(実習)

### 同時代資料の解読

世相を考える資料(講義・演習)

金子明雄

編集・出版・検閲(講義・演習)

十重田裕一

### 第4日 文学の周辺

文学と映画(講義・演習)

安藤 宏

東アジアと日本文学(講義)

土屋 忍

資料の保存・修理(実習)

展覧目録の作成(実習)

### 第5日 文学をめぐる問題

文学と美術・音楽(講義・演習)

中島国彦

草稿・注釈をめぐる問題(講義)

十川信介

### 総括

近代文学館に対する要望(質疑応答)

十川信介・中島国彦・池内輝雄

反省会